

カレーって
おいしいよね

2月12日はカレーに関する記念日が2つ

12日は「ボンカレーの日」と「レトルトカレーの日」というカレーに関係する記念日が二つ。この時期にはスパイスがたっぷり入った温かいカレーが恋しくなりますね。最近は今までのインドからイギリスを経て日本で手を加えられたカレーのほかにも、インドやネパール、パキスタン料理などのお店が増え、本格的なインドカレーやタイカレー、国内でも北海道のスープカレーのようなご当地カレーが人気となったこともあり、更に身近になりました。また全国で「カレーフェス」が行われるようにまでなり、多くの来場者を集めています。そんな日本の国民食である「カレー」についてあれこれ見ていきましょう。



カレーが全国に伝わるきっかけは軍隊食から

日本にカレーが入ってきたのは江戸時代末期。福沢諭吉が「増訂華英通語」で紹介したのがはじまりとされています。その後明治6年には家庭やレストランで提供されるのに先駆け陸軍幼年学校の土曜日の昼食がカレーライスとなり、後を追うように8年には海軍全体で同じく土曜日の昼食にイギリス式カレーが採用されました。徴兵制だった当時は兵役期間が終わり、故郷に帰った兵士たちが広めるのに一役買ったこともあり、日本各地にカレーライスが広まっていったと言われています。

現在では週休二日制になり土曜日から金曜日になったものの、特に長期航海が多くなる海上自衛隊では曜日感覚を取り戻させるため金曜日はすべての部署においてカレーライスを食べることが決まっています。また各駐屯地や部隊ごとにレシピが存在し、横須賀海軍カレーや呉海自カレーなどご当地カレーとして町おこしの面からも無視できない存在となっています。

最近ではYoutubeやSNSでカレーは世界へ・・・

日本のカレーで最近特に目立つのは海外進出。特に外食チェーンの「カレーハウスCoCo壱番屋」の人気は高く、12か国、167店舗(平成31年1月1日現在)に展開しています。近年はYoutubeでの動画配信やSNSなどでその美味しさが世界に広がっています。また、同じくカレーチェーン店の「ゴーゴーカレー」はメジャーリーガー(当時)の松井秀喜選手と契約をしてアメリカに店舗を拡大しています。

カレーフェスも全国各地で行われています

- ☆ 土浦カレーフェスティバル(茨城県土浦市：毎年11月)：川口運動公園
 - ☆ 下北沢カレーフェスティバル(東京都世田谷区：毎年10月)：下北沢駅周辺地区
 - ☆ 横須賀カレーフェスティバル(神奈川県横須賀市：毎年5月)：三笠公園
 - ☆ 神田カレーグランプリ(東京都千代田区：毎年11月)：小川広場
- ・・・など

家庭では固形ルウの発明で爆発的に！

家庭ではインスタントルウが出回るまでは野菜類と小麦粉にカレー粉を炒めることから始めざるを得なかったため、とても手間がかかったと言われていました。それが変わったのが従来のカレー粉に油脂、小麦粉、旨味成分を練りこんでフレーク状にしたハウス食品の「ホームカレー粉」です。ただ、大正時代に発売されたこの商品はまだカレーが一般的に広まる前だったこともあり、販売には苦戦したと言われています。

戦後になると本格的にカレーが家庭料理として普及するようになり、昭和20年に「オリエンタル即席カレー」が発売されました。特にスプーンが一般的でなかった当時に景品にスプーンをつける販売方法は、洋食用のスプーンを家庭に広めるのに一役買ったと言われていました。そして29年にエスビー食品の固形ルウが登場。各メーカーがそれに倣い固形ルウの生産を開始、35年には江崎グリコが板チョコの製造技術を応用したブロック式のワンタッチカレーを発売し現在に至っています。

